

(公表様式2)

養護老人ホーム<内容評価項目>(29項目)

### A-1 個別サービスの提供

(1)利用者に対する食事の提供		第三者評価結果
1	① 食事を楽しめるような工夫を行っている	a ● b · c
2	② 定期的に食事の環境を見直すシステムができていて、機能している	a ● b · c
3	③ 利用者の心身の状態に応じた食事の提供を行っている	a ● b · c
4	④ 食事について利用者の要望、希望を取り入れているようにしている	● a · b · c
<p>(特に評価が高い点・改善が求められる点) (特に評価の高い点) 嗜好調査の結果やその人に合った食事の形状等を色分けした表で表示し分かりやすくなっている。出前や持ち込みの食事等も取ることが出来き、その際にはどのような物を何時どこ食べたか等も把握している。また季節によってはノロウィルス対策として、生ものの差し入れを控えるよう依頼する対応等も行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 適温食、選択食、季節の行事食に取り組んでいるが、献立は当日掲示され、前もって知らされていない。メニューによっては、事前に外食等の判断ができるよう1週間程度の献立の掲示や配布が望まれる。</p> <p>嗜好調査や残食調査を行い、給食業務研究会などで検討されているが、利用者の希望や意見を把握するため設置されている給食懇談会は開催されていない。定期的に開催し食事環境やメニューに利用者の意見を反映させることが望まれる。</p> <p>利用者の心身の状況に配慮した食事の提供、テーブル、椅子、食器等も工夫しているが、居住棟ごと食事時間が決められており、自分の都合や体調に合わせた時間帯で食事ができるようになっていない。利用者の食事時間がもう少し自由に選べるような工夫が望まれる。</p>		
		第三者評価結果
5	① 入浴や清拭は、安全かつ適切に行っている	● a · b · c
6	② 入浴に関して、利用者の自尊心、羞恥心やプライバシーに配慮した介護を行っている	● a · b · c
<p>(特に評価が高い点・改善が求められる点) (特に評価が高い点) 介助が必要な利用者と自由に入る利用者の時間を分けることで、プライバシーにも配慮が出来る。大浴場の他に機械浴があり利用者の状況に応じ個別対応等の入浴支援がおこなわれている。。</p> <p>週3回の入浴が原則となっているが介助が必要でない利用者は、入浴日以外でも自由に入浴ができ、健康上入浴ができない場合は清拭等で清潔保持に努め、入浴後の整髪も行われている。</p>		
(3)利用者の適切な排泄管理		第三者評価結果
7	① 排泄の自立への配慮を個別の状態に合わせて考慮している	a ● b · c
8	② 排泄に関して、利用者の自尊心、羞恥心やプライバシーに配慮した介護を行っている	a ● b · c
9	③ トイレは清潔で快適である	a · b ● c

(特に評価が高い点・改善が求められる点)

(改善が求められる点)

排泄チェック表を使用し、尿意や便意のある利用者にはトイレ誘導を行い、数種類のリハビリパンツを利用者の状況に合わせ使用するなどの支援を行っているが、排泄自立していない利用者にも、計画的な自立排泄や残存機能の回復に向けた取り組みが望まれる。

トイレ誘導は自尊心に配慮した声掛けをしているが、2人居室での排泄介助がカーテンを閉めていない場合があるので利用者のプライバシーへの更なる配慮が望まれる。

施設が古く、換気扇をつけたり、毎日清掃をしているが、匂いを抑えるまでにはなっていない。またトイレは男女共用となっており、プライバシーの面からもトイレ環境の改善の検討が望まれる。

(4)利用者の自立した生活への支援

第三者評価結果

10

① 利用者の意思に基づいた移乗の支援を行っている

Ⓐ b・c

11

② 利用者の身体状況に応じて福祉用具などを適切に提供している

a Ⓑ c

(特に評価が高い点・改善が求められる点)

(特に評価の高い点)

介助が必要な方にも本人の意思に基づき日中はベットから下り、読書、趣味活動、テレビ鑑賞等自由に活動できる支援が行われ、移乗では、福祉用具の活用など対応を行っている。また同じ姿勢が長くならないように配慮がなされている。

(改善が求められる点)

福祉用具について介護保険等を利用しての貸与ではなく、施設の用具を貸し出しているが、使用する際に簡単な説明がされるのみであり、メンテナンスも不十分である。一人ひとりに合った用具が安全に使用できるような配慮が望まれる。

(5)利用者の整容の確保

第三者評価結果

12

① 利用者の状態や意思を反映した清潔な整容等の支援を行っている

a Ⓑ c

(特に評価が高い点・改善が求められる点)

(評価の高い点)

理髪の出張サービスがあり定期的な理美容ができています。また希望があれば施設外の理髪店まで行くことも可能であり自分の意思で選択できるようになっています。

(改善が求められる点)

髪形や化粧は利用者の自由であり必要があれば手伝うこともある。季節の清潔な衣服の着用をしているが、着替えに介助が必要な利用者の場合、夜間着と日常着の区別が無く着替えは入浴の時のみとなっているので、改善が望まれる。

第三者評価結果

13

① 日常の健康状態の把握を適切に行っている

Ⓐ b・c

14

② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる

a Ⓑ c

15

③ 服薬の誤りがないよう対策を講じている

a Ⓑ c

16

④ 感染症及び食中毒対策を適切に行っている

a Ⓑ c

(特に評価が高い点・改善が求められる点)

(特に評価が高い点)

バイタルチェックは定期的に行われており記録されている。医師、看護師、歯科医、歯科衛生士の健康相談、定期的な口腔衛生の指導が受けられ健康管理のデータも適切に記録され、日常の健康管理が行われている。

(改善が求められる点)

スムーズな医療が受けられる体制があり、健康管理に関するマニュアルが整備されているが、夜間時の疾病、事故などが発生した場合の対応マニュアルがないので整備が望まれる。

昼の服薬の際、職員が薬箱を離れ、利用者が自分で薬を取って飲んで見られた。マニュアルを配るだけでなく、マニュアルに従った服薬支援が行われるよう職員にマニュアルの周知徹底をして欲しい。

感染症、食中毒の発生予防などのマニュアルが整備されているが職員に周知するための研修は実施していない。全職員を対象に研修してほしい。

(7) 利用者の希望、要望の尊重

第三者評価結果

17	① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている	a <input checked="" type="radio"/> b · c
18	② 外出は利用者の希望に応じて行われている	a <input checked="" type="radio"/> b · c
19	③ 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
20	④ 利用者の意思や希望を尊重した生活を送れるよう配慮している	a <input checked="" type="radio"/> b · c
21	⑤ 預り金は、利用者の希望に沿って適切に管理している	a <input checked="" type="radio"/> b · c
22	⑥ 生活の継続性がある、なじみのある暮らしができるように配慮している	<input checked="" type="radio"/> a · b · c

(特に評価が高い点・改善が求められる点)

(特に評価の高い点)

テレビ、ラジオの所有が可能で新聞・雑誌に関しては各自購読も出来るが、食堂にも共用の新聞等が置いてあり、午後は部屋に持ちこみゆっくり読むことも可能となっている。テレビやラジオの利用のルールは利用者の話し合いで決められている。

居室には使い慣れたものや思い出の品が持ち込むことが可能となっている。また馴染みの店での買い物や外食、家族や親類との関係継続への支援が行われている。

(改善が求められる点)

余暇、レクリエーションは利用者の希望に沿って行われているが、行事の企画には利用者は入っていない。利用者の意見をより反映させるため、自治会代表など利用者が企画の段階から参加できるようにして欲しい。

外出は地域のボランティアの協力を得て計画的に実施されているが、利用者が自由に選択し外出できるよう、地域のガイドブックやイベント情報提供はされていないので、把握し提供に努めて欲しい。

酒やたばこ等嗜好品について利用者間で話し合っ規則を設けている。また課題が出るたびに職員が説明しているが、利用者間で話し合った規則が文書化されていない。疑義が生じないように決まった最低限の規則を文書化し周知することが望まれる。

預り金は預かり金管理規定に基づき、利用者、家族の希望を聞き、適切に管理しているが金銭の自己管理のための学習支援は行われていないので適切な支援が望まれる。

## A-2 家族との交流の確保

(1) 利用者と家族との交流、家族との連携確保		第三者評価結果
23	① 利用者と家族との交流の機会について配慮している	a・ <b>b</b> ・c
24	② 利用者との家族との連携を積極的に図っている	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点・改善が求められる点) (改善が求められる点) 家族との交流については、広報誌(年2回)の発行、家族が参加できる敬老会が行われている。その他家族などとの懇談の機会は少ないので、交流を深める事業や関係のための家族会などの実施が望まれる。		

## A-3 利用者の人権の擁護

(1) 利用者に対する不当な取り扱いの防止		第三者評価結果
25	① 身体拘束廃止について明確な対応策を講じている	a・ <b>b</b> ・c
26	② 利用者を傷つけるような職員の言動、介護放棄等の虐待が行われないための具体策を講じている	a・b・ <b>c</b>
27	③ 必要な利用者には、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用情報の提供など支援を行っている	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点・改善が求められる点) (改善が求められる点) 身体拘束防止マニュアルを整備し、身体拘束をしない支援を行っているが、設置されている身体拘束防止委員会を開催しておらず、日常起こりがちな課題(スピーチロック等)について話し合い、未然防止に努めてほしい。  成年後見制度利用の実績があり必要に応じて説明も行っているが、積極的にアプローチを行うまでには至っていない。利用者の状況に応じて行政や市町村社会福祉協議会と連携し権利擁護に取り組んで欲しい。  職員が守るべき規範・倫理等を明文化していない。入所者の尊厳や人権を事業所として自ら守るためにも明文化するとともに全職員が理解し支援に当たれるよう定期的な研修を行うことが望まれる。		
(2) 生きがいのある生活		第三者評価結果
28	① 孤立、退屈、無気力にならない配慮をしている	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点・改善が求められる点) (改善が求められる点) 朝、夕全員に声かけを行ったり、朝の会等への参加の声かけは行っているが、意識的な声かけは行っていないと感じられた。生活施設として利用者の孤立、退屈、無気力を防ぎ、生きがいを持てるよう、具体的な取り組みが望まれる。		
(3) その他		第三者評価結果
29	① 自己評価を実施している	a・b・ <b>c</b>
(特に評価が高い点・改善が求められる点) (改善が求められる点) 自己評価は、今回第三者評価調査を受けるため、初めて自己評価が行われたが、全項目について記入はされていない。今後、全項目について定期的に自己評価を行い、把握した課題や気づきをサービスの質の向上に活かす取り組みを行って欲しい。		